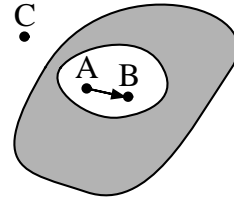


電磁気学演習 No.6 (電気映像法)

問 1*(導体内空洞) 図のような導体内空洞の A 点にあった電荷 q が同じく導体内空洞の B 点に移動した。このとき、導体の外の C 点の電場は変化するかしないか? また、空洞の外壁に現れる表面電荷密度は変化するかしないか? 理由とともに答えよ。



問 2*(導体球殻と球) 半径 a の導体球を 内半径 b , 外半径 c ($a < b < c$) の導体球殻で包む。導体の中心を原点とするとき、以下の問いに答えよ。

- (a) 内球の電荷が $Q_1 > 0$, 外球殻の電荷が $Q_2 < 0$ であるとき、電場 E , およびポテンシャル Φ を原点からの距離の関数として求めると共に、それらの関数のグラフを描け。
- (b) $Q_1 = Q, Q_2 = -Q$ の場合について、この導体系の静電エネルギーおよび静電容量 C を求めよ。

問 3*(2つの円筒形導体) 中心軸を共有する無限に長い半径 a および半径 b の円筒形の導体があり ($a > b$), それぞれ軸に沿って単位長さ当たり $-q$, および q の電荷があるとす。円筒の厚さを無視できるとするとき、

- (a) 積分型ガウスの法則を用いて、電場 $E(R)$ を求め、中心軸からの距離 R の関数として図示せよ。
- (b) 上で求めた電場から、静電ポテンシャル $\Phi(R)$ を求め、図示せよ。
- (c) 単位長さ当たりの静電エネルギー $U = \frac{1}{2} \int \rho(\mathbf{r})\Phi(\mathbf{r})dV$ を計算せよ。
- (d) 上で求めた静電エネルギーが $\frac{\epsilon_0}{2} \int E(\mathbf{r})^2 dV$ と一致することを確認せよ。
- (e) この導体系をコンデンサーと見なすとき、単位長さ当たりの静電容量を求めよ。

問 4*(電気映像法: 平面+点電荷) 無限に広い接地された導体平面がある。この導体表面から距離 h 離れた点 A に、点電荷 q が固定されている。以下の問いに答えよ。

- (a) 導体の外部におけるポテンシャル Φ と同等の解を与える電気映像はどのようなものか? その位置と電荷の大きさを求めよ。
- (b) 導体の外部におけるポテンシャル Φ を空間の関数として求めよ。
- (c) 導体表面における電場 E を求めよ。
- (d) 導体表面にある表面電荷密度 σ を求めよ。
- (e) 導体表面にある電荷の総量 Q を求めよ。
- (f) この点電荷を点 A から無限遠まで引き離すのに必要なエネルギーを求めよ。

問 5* (コンデンサーの静電容量) いくつかの導体系の静電容量 C が以下のように与えられることを示せ.

- (a) 孤立した半径 a の導体球 (ただし, 無限遠に対してコンデンサーを作ると考えよ)

$$C = 4\pi\epsilon_0 a$$

- (b) 面積 S , 間隔 d の平行平板コンデンサーで一方の極を絶縁し, 他方を接地した場合

$$C = \frac{\epsilon_0 S}{d}$$

- (c) 内半径 a , 外半径 b の同心球からなるコンデンサーで, 外球を接地した場合

$$C = 4\pi\epsilon_0 \frac{ab}{b-a}$$

- (d) 内半径 a , 外半径 b の同心球からなるコンデンサーで, 内球を接地した場合

$$C = 4\pi\epsilon_0 \frac{b^2}{b-a}$$

- (e) 内半径 a , 外半径 b の同軸円筒からなるコンデンサーで, 外筒を接地した場合 (単位長さあたり)

$$C = \frac{2\pi\epsilon_0}{\log(b/a)}$$

- (f) 半径 a , 間隔 d (ただし, $a \ll d$) の 2 本の十分長い平行導線 (単位長さあたり)

$$C = \frac{\pi\epsilon_0}{\log(d/a)}$$